

ウィンドウズ 10 の「アップデート」

2017 年 10 月 24 日

By ミケパパ

ある会員から「ウィンドウズ 10 の『Creators Update』がされたが、えらく時間がかかった。ミケパパさんはどうでしたか？」と聞かれました。一方、トレンドマイクロからは「『秋季アップデート』後に、ウィルスバスターを利用している方のディスプレイが真っ青のままになってしまうというトラブルが報告されています」というメールを受けました。幹事会やパソコンクラブのウィンドウズ 10(以下、“W10”)パソコンはウィルスバスターをインストールしていますので、これは対策が必要かもしれません。

ネットで調べてみますと、これら以外にも色々と話題になっているようですので、分かる範囲でまとめてみます。皆さんのご参考になれば。

1. W10 の「アップデート」

W10 の発売に際し、マイクロソフトはそれまでの営業方針を大変更しました。従来は、OS を数年ごとに更新し、顧客が否応なく新しい OS を搭載したパソコンを買わざるを得ないように誘導していたのですが、これをやめ、OS の更新は今後無償で定期的に供給する「アップデート」により行うことにしたのだとか。リナックスなど、無償の OS の勢力拡大を見て、従来の事業モデルでは顧客を引きとどめられないと判断したものでしょうか。

この「アップデート」ですが、2 種類あるようです。

- 1) 従来と同じく、OS の部分的な脆弱性などを訂正更新する「小規模」なアップデート・・・ほぼ毎月 1 回+適宜。
- 2) 大規模な変更を伴うアップデート。当初は「年 1 回」でしたが、現在は春と秋の 2 回に分けて実施するとされています。

2. 今回のアップデート

今回のアップデートは、10 月 17 日に提供が開始され、「Windows 10 Fall Creators Update1」と銘打たれています。新しくなるのは

- 1) Mixed Reality (MR) への対応
MR とは、Virtual reality (仮想現実) と Advanced Reality (拡張現実) を組み合わせた言葉で、要するにゴーグル型のヘッドセットをつけて楽しむゲームのことです。(シニアには関係ないかも)
- 2) 「設定」に「コルタナ」と「電話」が加えられた
コルタナとは、画面左下に開いている検索窓で、ここに手入力や音声入力で質問を挿入できる道具です。「電話」は、パソコンとスマホを共有して利用方法を拡大しようというもののようです。
- 3) インターネットブラウザ「エッジ」の機能が拡大した
「エッジ」の画面で、PDF ファイルに文字などが記入できるようになったのだとか。

3. アップデートの配信時期

小規模アップデートと異なり、W10 ユーザーへの配信は、「対応のできたユーザーごとに」数か月かけて配信されるようです。これは、今までのアップデートも、配布開始直後は相当数の「バグ」があるらしく、それに影響されないユーザーを見極めながら「順次」行っただけのようです。受ける私も、慌てることなく案内が来るまで待っていればよろしいかと。

4. 手動でのダウンロード

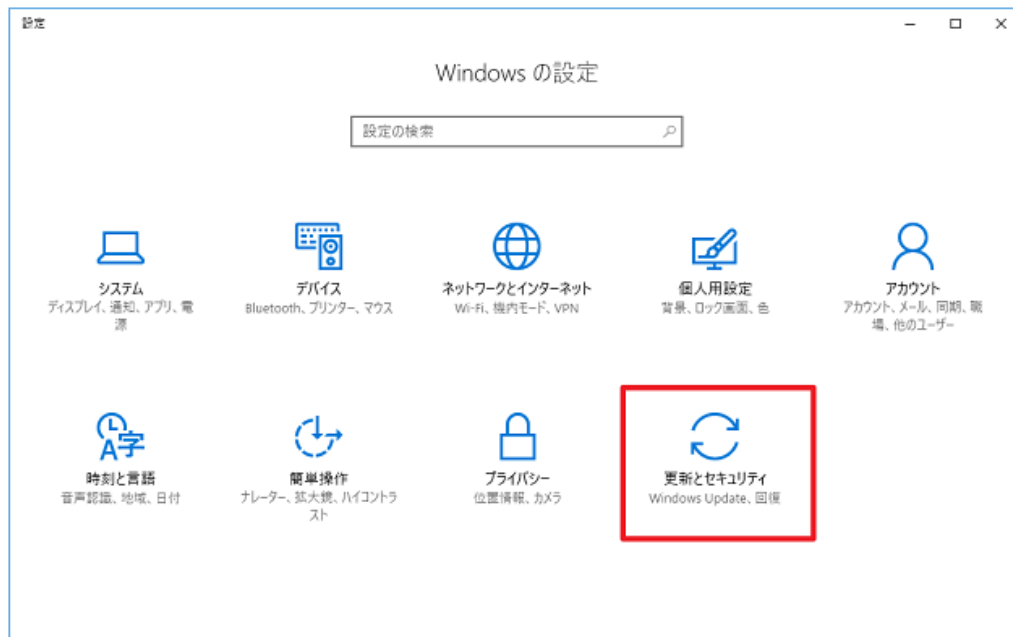
上記のごとく「待っていればよい」はずなのですが、「早く使ってみたい」と言われる方は、手動でダウンロードすることが可能です。(実は私は、調べているうちに「手動ダウンロード」を始めてしまい、仕方なく最後まで実施しました)

ダウンロード方法は以下によります。

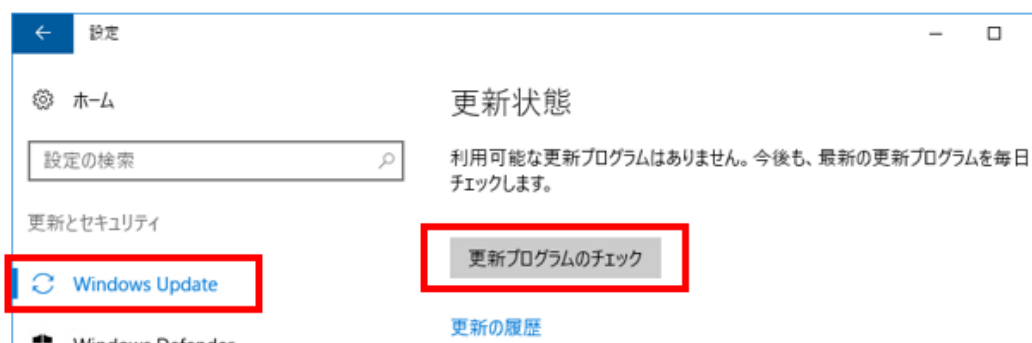
- 1) 画面左下のスタートボタン(窓のマーク)をクリック→「設定」(歯車のマーク)をクリック



- 2) 「更新とセキュリティ」をクリック



- 3) 「Windows update」→「更新プログラムのチェック」をクリック



- 4) ダウンロードが始まる。

「更新プログラムのダウンロード」→「インストールの準備」→「インストール」と実行。

この作業には、50分～90分かかるとのこと。

* ダウンロードが見かけ上「止まって」しまい、%が増えなくなったときは、ページ左上隅の「←」マークを押して前の画面に戻り、再度「更新とセキュリティ」をクリックすると、前に進む。(筆者の経験)

5) PC の再起動を求める画面が出た時は「今すぐ再起動」をクリック。

「WINDOWS の更新を設定しています」の外画に続き、数回、画面が暗くなります。

6) 「お使いのデバイスは最新の状態で」と表示されたら終了。

この後の「設定画面には、「コルタナ」と「電話」が追加されている。



5. トラブルの可能性

ネットで報じられているこの Fall Creators Update 後に発生するトラブルは、以下のようです。

- 1) 「システムイメージバックアップ」ができなくなる・・・Microsoft は市販のバックアップツールの使用を勧めているとか。
- 2) 「ウィルスバスター」を使用していると画面が青一色になり表示がされなくなる・・・トレンドマイクロ社から、修正パッチがユーザーに配布されています。
- 3) その他、特定の環境下ではネットに接続ができなくなるなど種々のトラブルが報告されているようです。

いずれにしても、これらの「バグ」は日を追って修正されるはずですので、皆さまは「通知が来るまで何もしない」のが一番と思われます。更新時にはえらく時間がかかるとのことなので、気になる方は 3 か月くらい後に「手動で」ダウンロードされるのもよろしいでしょう。

以上